

転換・少人数科目 (基礎ゼミ)「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012 年度)

## 第1講 イン트로ダクション(4/16)

作成：田中重人 (准教授)

### 1 初年度少人数教育の目的 (東北大学 n.d.)

- 「学びの転換」とは
- 学部をこえた人間関係

### 2 この授業でやること

- 「知的生産」とは (梅棹 1969)
- 意味のある問いと根拠のある答え
- メディア、他人、自分自身の利用方法
- 批判することの重要性

### 3 授業予定 (おおよその計画)

- (1) イン트로ダクション (4/16)
- (2) マスメディア等からの情報収集と批判 (4/23)
- (3) 書店と図書館の利用 (5/7,14,21)
- (4) 問いの設定について面談 (個人別: 5/28- の週)
- (5) 情報の整理とアイデアの創出 (6/4)
- (6) 他者との対話 (6/11)
- (7) レポート作成について面談 (個人別: 6/18- の週)
- (8) ペアで連絡をとって報告打ち合わせ (6/25- の週)
- (9) ペアで研究紹介と質疑応答 (7/2)
- (10) 口頭試問 (個人別またはグループ別: 7/9)

秋には基礎ゼミの「成果発表会」が開催されます (9/28 (金) 予定)。口頭またはポスターでの成果発表ができます。成績評価対象外で、参加は任意ですが、発表や質疑応答の方法を学ぶために、参加することを推奨します。参加者がいる場合、発表の準備は、授業期間外におこないます。

### 4 注意事項

- 授業中の課題遂行のため、情報機器の持ち込みを推奨
- 課題・宿題・レポートは、コメントをつけて返却します (内容によっては再提出を求めることもあります)。
- レポート最終版は、ISTU (東北大学インターネットスクール) <<http://www.istu.jp>> のレポート機能による提出とします。ISTU には、この授業の「受講申請」をしておいてください (受講者情報が自動的に登録されるのは、履修登録期間終了以降のことになります)。
- 授業資料用の宿題については、提出当日 10:00 までに ISTU の当授業の掲示板にアップロードされていれば、印刷をこちらで用意します。そうでない場合は、人数分 (11 人) のコピーを各自で用意してきてください。
- 教員からの連絡は、授業中の指示や管理等前の掲示板のほか、ISTU の「お知らせ」や個人ブログ <http://tsigeto.blog.fc2.com/blog-category-15.html> (RSS フィード利用可) に出る場合があります
- オフィス・アワーは定めていません。教員への相談は、適当な時間に予約をとってください

## 5 受講フォーム記入

- 自分の問題関心
- 日頃使っている知的生産やスケジュール管理の方法
- ウェブサイト、SNS、オンラインコミュニティなどの利用状況

## 6 レポートのフォーマット

- 問い
  - その背後にある大きな問い
  - 問いの学問的背景
  - 問いの社会的意義
- 答え
  - 必要な予備知識と前提
  - 答えの根拠
  - ありうる批判とそれをクリアする方法
- 問いを発展させる可能性
- 文献

## 7 文献を読むときにメモすべきこと

「要するに何が書いてあるか」を意識しながら読むことは重要であるが、ふつうはメモしなくても記憶に残る

- わからないことはなにか
- おかしい点はどこか
- 内容を発展させる方向性

付箋を貼る、目次にメモをする、写真にとる、など。

## 8 宿題

新聞記事・テレビ番組・雑誌記事・インターネットの情報などで、自分のアンテナにひっかかったものについて、つぎのことをまとめてくる

- 要するに何が書いてあるか
- その記事等が正しいとしたら何がわかるか（「問い」と「答え」のかたちで）
- その記事のなかでわからなかったこと（あとから調べたり考えたりしてわかったことをふくむ）
- おかしい部分（批判できること）
- 自分なりに発展させる可能性

ISTU 掲示板にアップロードする場合は、月曜朝 10:00 までに（OpenOffice, Microsoft Office, PDF, HTML, テキストのいずれかのファイルにすること）。または、自分で人数分のコピーを授業に持参する。

その記事などの現物（またはコピー）も 1 部持ってくる。

## 9 文献

梅棹忠夫 (1969) 『知的生産の技術』岩波書店。

東北大学 (n.d.) 「学びの転換」を育む研究大学型少人数教育 <<http://www.he.tohoku.ac.jp/center/tgpm/>>.

## 10 講師連絡先

田中重人 (東北大学文学部 日本語教育学研究室)

〒: 980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 文学部・法学部合同研究棟 2F

**Office:** <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/officej.html>

**E-mail:** tanakas2009 @ sal. tohoku. ac. jp

**Homepage:** <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/welcomej.html>

**Blog:** <http://tsigeto.blog.fc2.com>



転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012 年度)

## 第2講 アンテナを立てる (4/23)

作成：田中重人 (准教授)

### 1 「議論」のふたつのモード

- 結論を出すための議論
- アイディアを出すための議論

今日は後者のモードで

### 2 各自報告と議論

2-3 分で内容を説明。その後自由に討論。

### 3 次回予定

書店で本を探す実習をおこないます。大学生協 (川内南キャンパス) の文系書籍店前に 13:00 集合。

当日の流れは：

[3 時間目] 店舗前で集合 好きな本を各自探す 書誌情報をひかえて田中に報告 できれば現物入手 (買うか図書館で借りる)

[4 時間目] 教室 (川内北 A101) に戻って、各自が選んだ本について講評

どんな本を読みたいか、考えておくこと。

### 4 書誌情報

文献を特定するために必要な情報を「書誌情報」(bibliographical information) という。本の場合、つぎのような情報が必要である。

- 著者名
- 出版年
- 表題
- 出版社
- 版の情報 (もしあれば)
- シリーズなどの情報 (もしあれば)
- 国際標準図書番号 (ISBN)

これらの情報をメモした上で、図書館の所蔵目録データベース (OPAC) で検索するとよい。東北大学附属図書館の所蔵は、つぎの URL で検索できる。

[フルブラウザ用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/>

[モバイル機器用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/iecats/>

所蔵場所の読みとりかたは複雑である。なれておくこと。

転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012 年度)

## 第3講 書店で本を探す (5/7)

作成：田中重人 (准教授)

### 1 今回の課題

#### 1.1 3限

13:00 書店前集合

[課題] 自分の興味のある本を1冊以上探す。探した本の書誌情報(著者、標題、出版社、出版年など)を書いて提出。

- 書店内の配置を確認：各専門分野の書棚、新書、文庫、雑誌など
- 内容の見当を短時間でつけるには、どう読めばよいか？ 目次、前書き、あとがき、索引、参考文献の活用
- 書誌情報はどこに書いてあるか？ 奥付
- 静かに、節度を守って探索すること

みつけた本は、買うか、図書館で借りるかして、実物を入手する(できれば)。  
東北大学附属図書館の所蔵は、つぎの URL で検索できる。

[フルブラウザ用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/>

[モバイル機器用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/iecats/>

ただし、所蔵場所によっては、すぐには入手できないこともある。

#### 1.2 4限

14:40 に教室に戻り、入手した本について情報交換

### 2 次回予定

次回(5/14)は図書館の使い方(本館書庫、経済統計コーナー、2号館雑誌の閲覧)について実習をおこないます(3-4限)。13:00に本館ゲート前に集合。入館に必要なので、学生証を携行すること。

今回と同様に、各自の興味にしたがって本を探し、持ち寄って情報交換。

次回までの宿題：図書館本館カウンターで『「レポート力」アップのための情報探索入門』を入手して読んでおくこと。 [http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/?cat\\_id=3](http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/?cat_id=3)

転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012 年度)

## 第4講 図書館の利用 (5/14)

作成：田中重人 (東北大学文学部 准教授)

### 1 今回の課題

#### 1.1 3限

13:00 附属図書館ゲート前に集合

図書館職員の案内で2号館(雑誌)、経済統計コーナー(官公庁出版物など)、書庫を見学。その後書庫で実習。

[課題] 自分の興味のある本を1冊以上探す。探した本について、カウンターで借り出しの手続き

- 図書館内の資料所在と配列を把握する
- 書庫内の本の分類はどのようになっているか?
- 分類記号・請求記号の仕組みを理解する
- 静かに、節度を守って探索すること

#### 1.2 4限

附属図書館本館2階の会議室で授業。各自が借り出した本について意見交換。

### 2 次回予定

次回(5/21 3-4限)は通常の教室で、通常通り授業をおこないます。

宿題：自分の探した本1冊について、次のことをまとめてくる。次回授業で報告。資料は当日10:00までにISTUのこの授業の掲示板に投稿するか、自分で人数分(10部)を用意してくること。

- 内容の要約
- わからないことはなにか
- おかしい点はどこか
- 内容を発展させる方向性

### 3 注意事項

東北大学附属図書館では、学部生が本館書庫を利用するには、「書庫利用ガイダンス」を受ける必要があります。6月から7月にかけておこなわれるので、受講しておくことをおすすめします：<http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/bulletin/?page=article&storyid=461>

### 4 文献

東北大学附属図書館(2012)『「レポート力」アップのための情報探索入門』[http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/?cat\\_id=3](http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/?cat_id=3)

転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012年度)

## 第5講 報告と質疑 (5/21)

作成：田中重人 (東北大学文学部 准教授)

[今回の課題] 自分の探した本1冊について、報告 + 質疑

### 1 学会発表風の質疑の作法

目的はふたつ：

- (1) 報告者の今後の研究の発展に貢献すること
- (2) 参加者の間での共通理解を発展させること

ブレーン・ストーミングとはちがいで、単なる思い付きではなく、筋道だった議論にする必要がある。しかし、共通の「結論」を出すわけではないので、会議ほどには、焦点のさだまった議論にならなくてもよい。

報告を聞いている間に、質問 / 意見を考える

質問 (question): 報告者の答えるべきポイントがはっきりしているもの

意見 (comment): 必ずしも報告者に回答を要求しないもの

どちらであるかをはっきりさせて、要点がわかるように簡潔に。

### 2 レポート

この授業では、自分で問いを立て、それに自分なりの答えを出すことで、レポートを作成する。

問い: きちんと答えが出せるものでなければならない。必然的に、特定された小さな課題を選ぶことになる。ただし、その背後にある「大きな問い」、学問的な背景や社会的意義について必ず考えること

答え: 何を根拠としてその答えにたどりついたか、それに対する批判としてありうることは何かを考えること

発展させる可能性: この問いと答えを基にして、今後、どのように発展させる可能性があるか

これらについて、きちんと根拠を示しながら論じること。ただし、正式な論文としての体裁をとるものではなく、必要な情報を箇条書きでならべたようなものでよい。フォーマットは、授業後半で指示する。

### 3 次回予定と面談日程

5/28 は休講。そのかわり、レポートに向けての課題設定のための面談を、来週後半におこなう。

5/30 (水): 10:00–16:00

5/31 (木): 13:30–17:00

6/ 1 (金): 12:30–17:00

のなかで、ひとりあたり 30 分枠を設定

次回授業は 6/4。情報の整理とアイデア創出の方法を取り上げる。



転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012年度)

## 第6講 情報の整理とアイデアの創出 (6/4)

作成：田中重人 (東北大学文学部 准教授)

[今回の課題] 自分のレポートについてマインドマップ作成

### 1 今後の予定

- 他人との対話 (6/11)
- [この間、レポート作成についての面談と、ペアで連絡をとっての報告打ち合わせ]
- ペアで研究紹介と質疑応答 (7/2)【授業最終日】
- 口頭試問 (7/9 または都合のつく日)

次回以降は、問題関心の似た人同士でペアを組んで活動します。

### 2 レポート

口頭試問 (7/9) の際に提出。ただし、その後 8/14 までに改訂版を出してもよい。

A4 用紙で提出。箇条書きや表形式のような簡単な形式でよい (きちんとした文章にする必要はない)。

次の内容を盛り込むこと。

- 問い
  - その背後にある大きな問い
  - 問いの学問的背景
  - 問いの社会的意義
- 答え
  - 必要な予備知識と前提
  - 答えの根拠
  - ありうる批判とそれをクリアする方法
- 問いを発展させる可能性
- 文献リスト

「問い」と「答え」は簡潔に書くこと。問いを理解するのに必要な予備知識などの解説は、「答え」の「必要な予備知識と前提」のところに書く。

成績評価では次の3点が重要：

- (1) 意味のある問いをたてているか
- (2) 根拠のある答えを導いているか
- (3) その答えに対する批判的な姿勢を持っているか

### 3 情報の蓄積と整理

- 文献を読むときのメモ 下線を引く、付箋を貼る、目次にメモ、コピーや写真を撮るなど
- 情報の整理 ノートやカードの蓄積、デジタル技術の活用
- 書誌情報と現物の保管 文献整理ソフトの利用、本棚やコピー収納場所の確保

### 4 マインドマップ

「ミニマインドマップ」(別紙参照)をまず書いてみる。何枚か書いてみて、それを集積して「フルマインドマップ」を書く。大きな紙と色ペンを用意すること。

- アイディアの洗い出し
- 情報の整理
- 足りない情報や課題の整理 今後の情報収集

### 5 類似の手法

- マインドマップと同様のことは、PC上でもできる
- カードの利用
- 問いと答えのリスト
- 文章の構成をメモにする

### 6 宿題

自分がレポートで取り上げる内容について、現段階でのマインドマップを完成させる。次回の授業時に持ってくること。

転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012年度)

## 第7講 他人との対話 (6/11)

作成：田中重人 (東北大学文学部 准教授)

[今回の課題] 各自が作成したマインドマップに基づいて、ペアで意見交換

### 1 ペア活動

来週は面談

再来週は各ペアで連絡をとり、報告について打ち合わせ

### 2 発表会

7/2 はレポートについての発表会。

各ペアで、相手の レポートについて説明、そのあと質疑応答

- 当日 10 時までに資料を ISTU に投稿するか、人数分コピーを持参する
- レポートそのもののほか、追加の資料をふくめてよい

### 3 口頭試問

7/9 口頭試問。ペアごとに時間を決めて行う。

- レポート改訂版をこのとき提出してもよい
- 口頭試問後にさらに改訂版を出す場合は、8/14 までに ISTU 掲示板へ

### 4 対話からえられるもの

- 説明する - 説明を受けて理解する (双方向的に)
- アイディア・感想・情報の交換
- 批判と応答
- 文章の添削
- 文脈の共通理解
- コミュニケーション能力

### 5 文献一覧の出典表示

レポート末尾の文献一覧には、つぎのような感じで情報をならべる。

文献一覧の例

藤原千沙, 2005, 「ひとり親の就業と階層性」『社会政策学会誌』13: 161-75.

岩田正美, 2005, 「政策と貧困」岩田正美・西澤晃彦編『貧困と社会的排除』ミネルヴァ書房, 15-41.

厚生省, 1999, 『人口動態社会経済面調査報告 平成9年度』厚生統計協会.

日本社会学会, 2009, 「社会学評論スタイルガイド 第2版」(<http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php>)

大村敦志, 2010, 『家族法』(第3版) 有斐閣.

レポート文中では、藤原(2005)あるいは(厚生省 1999: 63)のように出典を書く。くわしくは日本社会学会(2009)を参照。

転換・少人数科目 (基礎ゼミ) 「資源配分システムとしての家族・市場・政府」(東北大学 2012 年度)

## 第8講 発表会 (7/2)

作成：田中重人 (東北大学文学部 准教授)

[今回の課題] レポート内容について紹介および質疑応答

### 1 今日の報告・質疑内容

- ペア相手方のレポート内容について簡単に紹介
- 執筆者から補足説明
- 討論

### 2 授業評価調査

担当者を2人選出して、この授業についての調査に回答。担当者は回収して窓口に提出。

### 3 口頭試問 (7/9)

ペアごとに時間を決めて、レポート内容について試問。各ペア 30 分を予定  
このときにレポート改訂版を提出してもよい。

### 4 基礎ゼミ発表会 (9/28) について

東北大学 (全学教育) 今年度基礎ゼミでの学習成果の公開合同発表会 (口頭での発表と、ポスターセッションの2種類)。発表希望者があれば、準備のための機会 (任意参加) を夏休み中に設定。

日時: 2012年9月28日(金) 13:30～

場所: 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 B 棟

- 口頭発表会は B200 教室で開催 (各発表5分程度)
- ポスターセッションは B 棟廊下展示スペース (発表会のあと 10月5日(金) 正午まで1週間 掲示)

学生の発表募集: 管理棟 2階 7番窓口で受け付け。8月10日(金) 〆切

URL: [http://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku\\_kzh.html](http://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku_kzh.html)

ポスター: <http://www2.he.tohoku.ac.jp/center/kisosemi/kisosemi2012.pdf>

発表の中から優秀なものに賞を授与 (当日会場に来た学生及び教員の投票により決定)